

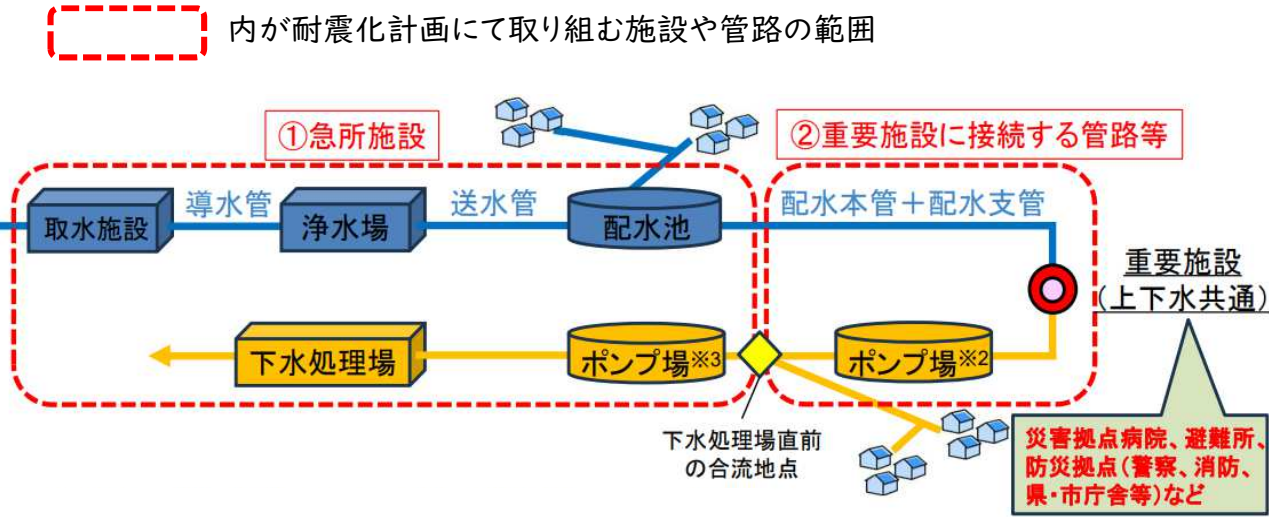
日田市上下水道耐震化計画【概要版】

1 計画の趣旨

日田市水道事業及び下水道事業では、令和6年能登半島地震の経験を踏まえた国の要請を受け、「日田市上下水道耐震化計画」を策定しました。

この計画は、災害に強く持続可能な上下水道システムの構築に向け、浄水場や下水処理場などの施設（①急所施設）については、概ね15年間。避難所などの重要施設に接続する水道管路、下水道管路、ポンプ場（②重要施設に接続する管路等）については、概ね20年間で耐震化を図ることを目指し、令和7年度～令和11年度の5年間の目標を定めたものです。

2 対象施設のイメージ図



出所：国土交通省

3 重要施設数

区分	施設数
下水道区域内	28施設 医療機関(4)、避難所(17)、防災拠点(7)
下水道区域外	8施設 医療機関(0)、避難所(3)、防災拠点(5)

4 5年間の耐震化目標

(令和5年度末の耐震化率 ➡ 令和11年度末の耐震化率)

区分	上水道		
		対象施設	耐震化率
①	取水施設	30施設	63.9% ➡ 63.9%
	導水管	12,394m	2.7% ➡ 16.7%
	浄水施設	29施設	62.8% ➡ 62.8%
	送水管	54,293m	6.2% ➡ 9.1%
	配水池等	74施設	78.7% ➡ 78.7%
②	重要施設に接続する管路	下水道処理区域内	26.4km 5.7% ➡ 6.4%
		下水道処理区域外	8.3km 10.8% ➡ 10.8%
区分	下水道		
		対象施設	耐震化率
①	処理場	2施設	50% ➡ 100%
	処理場～合流地点の管路	0.5km	40% ➡ 40%
②	重要施設に接続する管路	29.8km	18% ➡ 18%
	ポンプ場	2箇所	0% ➡ 0%